

楽しく論理的読解力を育てるポイント



地域に住むミスターMさんからの依頼を受け、意見文「ふるさと三永の未来を守る」を総合的な学習の時間に書いて、地域へ発信する活動を設定する。説得力のある意見文を書いて地域へ発信するために、筋道の通った文章となるような論の進め方や文章全体の構成を捉える力を付けるとともに、筆者の主張への自分の考えを根拠に基づいて書く力を付ける。

1 単元のデザイン

単元の重点目標<本校で育てたい資質・能力との関連>

- 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。 [知識・技能(2)ア]
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等C(1)ウ] <論理的読解力>
- フリップや論理シート作りを通して、筆者の論の進め方の工夫について考え、筆者の主張への自分の考えをまとめて、友達と伝え合おうとする。 [学びに向かう力, 人間性等] <積極性>

教材について

本教材は、イースター島の森林消失の過程を紹介することで、持続可能な社会の重要性について主張する文章である。序論、本論、結論の構成のもとに筆者の主張が展開されており、事実と意見、原因と結果など情報と情報の関係を押さえながら筆者の主張を読み取ることに適している。

森林が消失した理由について、筆者は人間による森林伐採と人間が持ち込んだラットがもたらした生態系への影響という二つの事例を挙げている。これらの事例に対して児童は納得したり、疑問をもったりしながら読み進めることができ、事例と答えの整合性について考えることが可能である。

本単元では、文章を読んで筆者の主張をつかみ、筆者が挙げている事実とそれに対する意見や、読み手を説得するための論の進め方の工夫を捉え、筆者の主張に対する自分の考えをもつことを目標とする。

本単元で学習した、読み手を説得させるための論の進め方や文章全体の構成や展開の工夫を活用して、総合的な学習の時間で意見文「ふるさと三永の未来を守る」を書くという活動につなげていく。

児童について

評価テストの観点	単元前 正答率
○筆者の主張を読み取ることができる。	77%
○筆者の主張に対する根拠を読み取ることができる。	14%
○筆者の主張に対する自分の考えを書くことができる。	23%
○文章全体の構成を捉え、要旨を把握することができる。	50%

本学級の児童は昨年度の説明文「和の文化を受け継ぐ」で読み取った事をフリップにまとめ、プレゼンテーションを行うという学習を行っている。学習を通して文章の要旨を捉えることができるようになった。

しかし、文章全体の構成を捉え主張と根拠の関係を読み取る力、読み取ったことを基に主張に対する自分の考えをもつ力は弱い。そこで、文章の構造を読み取ったことを整理することを通して、文章全体の構成を捉える力、主張に対する自分の考えをもつ力を身に付けさせる必要がある。

指導について

本単元は、地域に住むミスターMさんからの依頼文との出会いから始まる。依頼文には、「三永には、開発による自然破壊、ごみの問題などの課題があり、三永の未来を心配している。6年生のふるさとでもある三永の未来について考えてほしい。」とあった。ミスターMさんからの依頼を受けて、自分たちができることを考え、学習のゴールとして、総合的な学習の時間において、地域の人に意見文「ふるさと三永の未来を守る」を書いて発信し、一緒に考える活動を設定した。このように、自分たちが考えたゴールを設定することで、意欲的で主体的な学習を進めていきたい。

国語科では、本教材で主張を説得力のあるものにするための論の進め方等を、説明文「町の幸福論」で情報活用について学ぶ。相手意識、目的意識をもち、学習したことが次の活動にどうつながっていくのか見通しをもって学習を行うことで、学びに向かおうとする気持ちを持続させていきたい。

本教材では、まず教材文をまとめりごとにフリップ（中心となる語や文を見つけて要約し1枚にまとめたもの）にまとめ、それをもとに論理シート（論の進め方を構造化した1枚にまとめたもの）を作る活動を行う。これらの活動を通して、事実と感想、意見などとの関連を叙述を基に押さえながら、文章全体の構成を捉えて要旨を的確に読み取らせたい。次に、読み取った筆者の主張への自分の考えを根拠に基づいて書くことになる。そこでは、筆者の論の進め方の工夫を見付けるといった視点を持ちながら、学習に取り組ませたい。また、自分の知識や経験を総動員して筆者と対話しながら自分の考えをまとめていかせたい。その支援の一つとして、「未来に生かす自然のエネルギー」などの関係書籍を並行読書できるような環境をしっかりと整備しておきたい。

2 単元の重点目標に対する評価規準

知識・技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学びに向かう態度
原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	フリップや論理シート作りを通して、筆者の論の進め方の工夫について考え、筆者の主張への自分の考えをまとめて、友達と伝え合おうとしている。

3 他教科等との関連

<p>「プロジェクトM 意見文「ふるさと三永の未来を守る」を書こう」～イースター島にはなぜ森林がないのか～</p> <ul style="list-style-type: none"> 説得力のある論の進め方を学んだり、主張に対する自分の考えをまとめたりする力を付ける。 	<p>「プロジェクトM ～意見文「ふるさと三永の未来を守る」を発表しよう [総合的な学習の時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語科で学習した論の進め方や説得力のある意見文の書き方を活用する。 	<p>「プロジェクトM ～意見文「ふるさと三永の未来を守る」を書こう」～町の未来をえがこう 町の幸福論～</p> <ul style="list-style-type: none"> 説得力のある意見文にするための資料を効果的に活用する力や読み取った情報を活用する力を付ける。
--	--	---

4 指導計画（全11時間）

次	学習活動(時)	評価			指導の留意事項
		知	思	主	
○ 出会い	<ul style="list-style-type: none"> ミスターMさんからの手紙を読み、意見文「ふるさと三永の未来を守る」を書く活動に興味をもつ。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実生活とつながりのあるような課題を提示し、「自分たちにできることは何か」を考えることで、意見文を書くことに意欲をもたせる。
一 見通し	<p>課題の発見（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師が作った不完全な意見文「ふるさと三永の未来を守る」を読み、納得できないと思う点を交流し学習計画を立てる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 主張が曖昧で、事例が妥当でない不十分な意見文を読み、説得力のある意見文を書くための学習計画を設定する。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">一 構造と内容の把握</p>	<p>課題の追究①（６）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・序論の内容を読み，イースター島に関する情報を捉えて，フリップにまとめる。 ・筆者の主張をフリップにまとめる。その主張について納得するかどうか，またその理由について自分の考えをまとめる。 ・本論をフリップにまとめる。イースター島に森林がない原因として挙げられている事例と筆者の主張との関係を考えながら，まとめる。（２） ・フリップにまとめたことをもとに，論理シートを作成し，文章全体の構成をつかむ。（２） 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○ ◎</p> <p>○</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張やそれを支える根拠（理由，事例）を基にして必要なフリップの枚数を考えたり，本文の引用，要約をしたりしながら，フリップを作成させる。 ・フリップは，事実と感想，意見に色分けをすることで，情報と情報の関係（原因と結果）や，筆者の論の進め方を捉えやすくする。 ・論理シートを作成する際に，自由に書きにくい児童に対しては，枠のある論理シートを用意したり，その枠に入る選択肢を用意したりして支援する。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">三 精査・解釈</p>	<p>課題の追究②（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したフリップや論理シートを基にしながら，筆者の論の進め方について考え，自分の意見文に役立たいことを選ぶことができる。（本時 8/11） 	<p>○</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・作成したフリップや論理シートを基にしながら，自分の意見文を書く時に役立てるために，筆者の論の進め方について話し合わせる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">四 考えの形成・共有</p>	<p>学びの深化（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた筆者の主張に対する自分の考えを書いた意見文を読み合い，互いの考え方や説明の工夫に対する感想を伝える。 	<p>○</p> <p>○</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を基にしながら，筆者の主張に納得したかどうか，説得されたかどうかについて，自分の知識や読書経験などと結び付けて自分の考えをまとめさせる。 ・自分の考えが明確に書かれているか，考えの根拠が効果的に説明されているかなど，考え方や説明のよさをについて感想を伝え合わせる。
	<p>まとめ・振り返り（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材から学んだことをまとめ，意見文「ふるさと三永の未来を守る」を書く活動につなげる。 	<p>○</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して，説得力のある意見文を書くために，分かったこと，できるようになったこと，活かしたいこと，これから学びたいことを「国語の鉄則」にまとめさせる。

5 本時の展開

(1) 本時の目標

作成したフリップや論理シートを基にしながら、筆者の主張と論の進め方について考え、自分の意見文に役立てたいことを選ぶことができる。

(2) 本時の学習展開 (8/11)

展開 (形態)	主な学習活動と予想される児童の思考	教師の働きかけ ◎評価規準(方法)◇配慮を要する児童への手立て
つかむ (全体)	<p>○作成したフリップを提示し、前時までの学習内容を確認する。</p> <p>フリップの色分け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張 ・事例 ・理由 (事例のまとめ) 	<p>・今まで学習してきたことを掲示しておき、常時振り返ることができるようにする。 (板書：フリップ, 各自：論理シート など)</p>
	<p>筆者の論の進め方をもとに、自分の意見文「ふるさと三永の未来を守る」を説得力のあるものにするために役立てたいことを考えよう。</p>	
考えを出し合い、吟味する (個→グループ→全体)	<p>○筆者の主張とその理由や事例の段落を確認する。</p> <p>筆者の主張</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自然の利用方法を誤り健全な生態系を傷つけてしまえば、同時に文化も人々の心もあれ果ててしまい、人々は悲惨できびしい運命をたどる。 ② 今後の人類の存続は、むしろ、子孫に深く思いをめぐらす文化を早急に築けるかどうかにかかっている。 	<p>・筆者の主張とその理由や事例を確認するために音読を取り入れる。</p>
	<p>○意見文を書く時に役に立つかどうかという視点で、論の進め方について考え、付箋を使って論理シートに書き込む。</p> <p>考える視点</p> <p>○説得力を高めるためのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成 ・理由や事例(根拠)の用い方 ・主張と事例の関係 ・原因と結果の明確さ ・問いと答えの使用 <p>など</p>	<p>・最初に提示した意見文で学習したことが着目するポイントになることを確認する。</p> <p>・自分がどれくらい役立てたいか、付箋に星の数(1～3)を示し、立場をはっきりさせてその根拠を考えさせるようにする。</p> <p>・書くことが難しい児童には、考える視点に沿った例文を示し、言葉を選んで書くことができるようにする。</p>

	<p>○自分の意見文を書く時にどのくらい役に立つか、論の進め方について、自分の考えやその根拠を話し合う。 読み手を説得するために主張を説得力あるものにするために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果が明確に書いてある。 ・問いと答えがある。 ・事例が四つある。 ・事例①の事例が二つある。 ・事例②は具体的な数値が示してある。 ・事例③は推量の文末表現なのが説得力に欠ける。断定の方がよい。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>・提示してあるフリップや自分が作成した論理シートを基に、論の進め方に対する自分の意見を考えさせる。その際、考えの根拠をこれまでの学習やフリップ、本文、自分が集めている情報などから説明できるようにさせる。</p> </div> <p>・次のような二つの観点で、話し合いを深めさせるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 友達との納得度（星の数）のずれを提示する。納得度の理由を出し合い、どちらの納得度が妥当か考えさせる。 ② 教師からの納得度の低い部分の提示をする。どうすれば納得度を上げることができるかを考えさせる。 <p>（例）27 段落で、話が「人類の存続」という問題になっている。→「イースター島の森林の消失」「人類の存続」という問題になることは話が大きくなりすぎているのではないだろうか。→では、どうすればよいか？→考える時間をとる。→教師から「モアイは語る―地球の未来 安田 喜憲」（中学2年 光村図書）にある事例を提示する。→日本という身近な所から論を進めていくことで納得度が上がることを確認する。</p>
<p>まとめる（全体↓個）</p>	<p>○学習のまとめを行い、自分の選んだ論の進め方について、加筆・修正をしながらまとめる。</p>	<p>◎自分の意見文を書く時に役立てたい筆者の論の進め方について具体的にまとめている。 （振り返りシート）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◎おおむね満足できる児童の姿</p> <p>私が役に立てたい論の進め方は二つあります。一つ目は、事例①のように、調査の結果など事実を根拠として用いて説得力を高めるといことです。その際、根拠となる具体的な数値を用いることで、説得力をより高めることができるということ。二つ目は、主張に対する事例を二つ以上書くことです。</p> <p>私が役に立てたい論の進め方は二つあります。一つ目は、問いかけの文とその答えとなる文を入れるということ。二つ目は、筆者の主張②のように、話が急に大きくなりすぎると説得力に欠けるので、「モアイは語る」のように身近な所から事例を用いることで、説得力を高めるといことです。</p> </div> <p>◇自分の意見文に役に立てたいことを具体的に書くように、型を示し確認する。</p>

(3) 板書計画

フリップ 話題提示	フリップ 問い ①	フリップ事例① 食料生産	フリップ 事例② 宗教的 文化的	フリップ 事例③ ラット	フリップ 理由 (問①の答え)	フリップ 主張 ①	フリップ 問い ②	フリップ 主張 ②
--------------	--------------	-----------------	---------------------	-----------------	--------------------	--------------	--------------	--------------

プロジェクトM 意見文「ふるさと三永を守る」を書こう
「イースター島にはなぜ森林がないのか」
鷲谷 いずみ

めあて
筆者の論の進め方をもとに、自分の意見文「三永の未来を守る」を説得力のあるものにするために役立てたいことを考えよう。

役立てたい！

- ・ 問いに対する答えは必ず書く。
- ・ 原因と結果が明確に書いてある。
- ・ 説得力を高めるための事例が四つもある。
- ・ 事例③が事実かどうか明確ではない。

しっかりと調べたこと・事実を根拠としていきたい。

主張②は、事例から考えても、考えが広がりすぎではないだろうか。

身近な所から根拠となる事例を用いることによって、説得力ある意見文にしたい。